

10/25 三渡

沖縄で米海兵隊の改編や大規模な白米共同訓練の実施、無人機の配備など過重な基地負担を一層増やす動きが相次いでいます。地元紙は「沖縄を戦場の『前線』にする連携が、あまりに急速にエスカレートしていいる」(琉球新報18日付)と懸念の声を上げています。

主張

沖縄の基地負担増

の離島などに分散展開し、周辺地域の中國軍の艦船などを攻撃する。
米海兵隊の「遠征前進基地作戦」(EABO) の中枢部隊です。前述の琉球新報は「MLR(MLR)」と題して、島での訓練の実施などについて、沖縄の基地負担の増加につながる可能性「注目」を指摘しています。

戦闘の「領域機動作戦」よりも、
戦闘のEABOを踏み越えた共同対
処力の強化を目的としたもので
す。領域撃断作戦とは、従来の
陸、海、空の領域も非曲がりバ
ー、電磁波の新領域での能力を融
合された軍事戦とされます。

じり込んだり、たたかで部隊です。
ソノコート・エラカンでは陸
自の輸送機ʌ2オブアレイが津繩
県の日高要請を無視して県内に初
飛来し、負傷者の輸送訓練のため
新石垣那覇を使用しました。文字
通り南北地域が戦場の「前線」に
なることを想定したものでも。

強々抗戦し、基地負担の軽減を行なうとする部隊の増強は承服でない」と防衛省に申し入れました。県は17

米海兵隊は17日、沖縄に駐留する第12海兵連隊を改編し、「第12海兵沿岸連隊（MLR）」を11月15日に設立されたと発表しました。1月の日米外交・軍事担当閣僚による安全保障協調委員会（2ヘルス）で2025年までにMLRに改編するとしていた旨意を、中期に実施するものです。

海兵治岸連隊の発足

実際、14日から31日までの間で初めて九州・沖縄を中心とする訓練が実施されている米海兵隊と陸上自衛隊の最大規模の共同訓練（レンジャー・マーチathon 23）で、第12海防連隊はMLRへの改編を想定した訓練を行っています。

「作戦当初から戦域内に所在する『スター・ラン・フォース』に対して、あらゆる領域からの攻撃に対して部隊を防護し、持久して作戦を遂行する」ことを擧げています。スター・ラン・フォースは、敵のミサイルなどの射程圏内

9（8機）の配備を大きな問題とす。鹿屋飛場の海上自衛隊鹿屋基地（鹿屋市）に一時的に展開していた同機を無期限で嘉手納基地に配備するという計画だ。

「本綱臣邊で云ふのが中國事機と衝突したのであるか。偶発的な衝突が一触即発の状況を生むかねない」(井関タイムズ社訳)と述べておる。其の實に加え、沖繩を再び戦場にする危険を高めるおそれを警戒して政府の頭を上げていいが必须要です。

再び戦場にする準備をやめよ

沖縄県の米空軍
手納基地（嘉手納町、
沖縄市北谷町）

地元紙は、今月3日付黒潮新聞によると、飛行中の米軍のMQ-9がロシア軍機と衝突し墜落したりとを指摘

の離島ないしは敵堅開し、周辺地域の中國軍の艦船ないしを攻撃すれば、米海軍隊の「遠征前進基地作戦」(EASTWARD) の任務詔諭です。前述の琉球新聞は「ミシマ」離島での訓練の実施など、沖縄の基地負担の増加につながる。

の適用の一領域機動作戦」とは、戦闘のEABOを踏み越えた並列的、効力の強化を目的としたもので、領域横断作戦とは、従来の陸、海、空の領域と並んで、サイバーネット、電磁波の新領域での能力を確立せんとする軍事行動を意味します。

じり込んだり、たたかう部隊です。レンジャー、ドックンでは陸自の輸送機、22オペフレイが沖縄県の日露要諦を無視して県内に初飛来し、負傷者の輸送訓練のために新石垣飛行場を使用しました。文字通り南北地域が戦場の「前線」にならむことを想定したものですね。

（註）在日説明会を七ヶ島へ飛来した一週間後は、一機目の飛来（1月13日）がありました。県は17強く抗議し、基地負担の軽減を行なうべく、連行する部隊の増強は承服でないとの防衛省に申し入れました。